

# 認定こども園 広島和光園保育所 2024 6月のおたより



雨の多い梅雨の季節がやってきました。アジサイも色づき始め、園で飼育しているカタツムリもなんだか嬉しそうに見えます。

じめじめとして蒸し暑い日が続きますが、6月は園庭などで水遊びや泥遊びなどで大胆に遊んでいきます。毎年、真夏に水遊びや感触遊びをするのが通常でしたが、昨今は気温が上がり熱中症の危険性があるために外遊びはできず、エアコンの効いた室内で体を動かしています。そういうこともあり、6月ごろから夏の遊びが満喫できるように計画し、しっかり経験していこうと思います。

園の中庭や2階のオープンスペースでは、夏野菜の栽培も始まりました。生長を楽しみに、収穫の喜びも味わっていきます。線路跡地の畑でとれたかわいい玉ねぎも、「どんな料理で食べようかな…」と、こどもたちも楽しみにしているようです。次はサツマイモの苗付けにも挑戦。

しっかり遊んで、しっかり食べる・・・体も心も大きくなあれ！！

2歳児・幼児 夏野菜の栽培が始まりました。



「でんでんむしむしかたつむり〜♪」手でカタツムリを作る子も…。

カタツムリに興味深々！



1,2歳児 どんろこ遊びが始まりました！



手をしっかり使って泥に触れることで、手指の発達や感性を育み、創造力へとつながっていきます。



裸足でどんろこ。ふしぎ！おもしろい！！

<2歳児>小さなピーマンを見つけ「ピーマン早く食べたーい！」

### 玉ねぎの収穫をしたよ！

5月21日、年長組の子どもたちが、線路跡地で玉ねぎの収穫をしました。今年の玉ねぎは、葉っぱはしっかり伸びていたのですが、玉ねぎは小ぶり…。一口サイズのおいしいそつな玉ねぎが豊作でした。(笑) 子どもたちは葉を引っ張って玉ねぎが採れると「見て〜、採れたよ！」と収穫をとっても喜んでいました。

「焼いたら甘くなるよ。」と、調理することで味がわかることを知っている子も！どうやら、キャンプで玉ねぎを焼いて食べた経験があったようです。楽しい経験が知識として自然と力になっていくんですね。



これ、赤ちゃんの玉ねぎ！

### 畑づくりにチャレンジ！

玉ねぎ収穫の次の日、職員でさつまいもを植えるための畑づくりをしました。今年から保育所に仲間入りした職員も畑づくりデビューです！土を触る機会などもなかった新卒の職員は、土から虫がでてくるたびに大騒ぎしながら、楽しく賑やかに畑仕事をしました。そして、なかなか経験することのない耕運機の操作にもチャレンジ！おぼつかない手つきですが、頑張って動かしていましたよ。子どもだけでなく、職員も一つずつ経験を重ねながら成長しています。

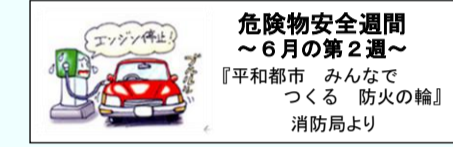


区役所の職員さんもお手伝いしてくださいました。



採った玉ねぎをみんなで干しました。

初めての耕運機にドキドキ★



危険物安全週間 ~6月の第2週~ 『平和都市 みんなでつくる 防火の輪』 消防局より

日	曜日	6月の行事
1	土	
2	日	
3	月	体育教室
4	火	
5	水	
6	木	硬筆教室
7	金	
8	土	1年生クラス会
9	日	
10	月	体育教室
11	火	
12	水	
13	木	硬筆教室
14	金	
15	土	懇談会(ひよこ・ぺんぎん・いるか組)
16	日	2階階段前 ゲート設置
17	月	体育教室
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	プラネタリウム鑑賞
22	土	懇談会(はなとりグループ)
23	日	
24	月	体育教室
25	火	
26	水	
27	木	硬筆教室
28	金	
29	土	
30	日	

わかばパパママ応援教室は、随時受付中です

## 子ども一人ひとりを大切に… 比治山大学で実践発表をしました

昨年度に引き続き、比治山大学短期大学部幼児教育科の七木田方美先生よりご依頼を受け、保育士を目指す学生さんたちに広島和光園保育所で考え実践している「子ども主体の遊び」や「流れる日課」について、事例発表を織り交ぜながらお話ししました。

今回は、講義の前半に「サムエル東広島こどもの園」の園長先生がお話されました。「サムエル東広島こどもの園」は、育児担当保育や流れる日課での保育を何年も前から実施されている園でもあり、子どもが主体的に生活を営むことの大切さや、乳幼児期の愛着関係の大切さを丁寧に話されました。後半は和光園保育所で子どもたちが自由選択遊びの中で自ら遊びを展開していく姿を、写真を交えてお話ししました。学生さんたちは、子どもたちが夢中で遊び姿を目を輝かせて見ていました。

今回のお話を通して、子どもの発想の面白さや、保育の仕事の魅力などを感じてもらえたらいいなと思っています。そして、この機会に、私たちと同じように担当保育や流れる保育を実施している近隣の園とのご縁を頂き、安心したり、励みになったりしました。明日からの保育への活力をたっぷり蓄えました！

七木田方美先生



サムエル東広島こどもの園 新本園長先生

広島和光園保育所 森尾保育士 増田保育士

教えて!まさみ先生!!

感覚の中で最初に使われる感覚は「触覚」です。実際にママのお腹の中にあるとき(妊娠10週)から、触覚の学習は始まっています。生後すぐに触れているものと同じ感覚であるということを知ることが、記憶の整理や何かを握るときの、柔らかいものはふんわりと、硬いものはギュッと握ることができ、赤ちゃんが好奇心旺盛に何にでも触れ、試み

<七木田方美先生> 広島県教育委員会が発行しているリーフレットで七木田先生のお話が取り上げられています。是非ご覧ください。



## 5月から広島和光園保育所に仲間入り! 新しい職員を紹介!

子どもたちの『今』を大切に、精いっぱい努めています。よろしくおねがいします。



はまなか えみ 濱岡 恵美 保育士

とくみつ 徳光 ゆか 保育士

## 虫刺され・とびひに気を付けましょう

気温が上がってきて、蚊が飛ぶ様子を見かけるようになりました。中には虫に刺されるとひどく腫れやすいお子さんもいますね。保育園では外に出る際に虫よけスプレーを使用したり、必要に応じてかゆみ止めを使用したりして対策しています。

### なぜ子どもは蚊に刺されやすいの？

蚊は、人の体温や汗のにおい、濃い色に寄ってきやすいと言われています。子どもは大人よりも体温が高く、汗をかきやすいために、蚊に刺されやすいということです。蚊に刺されやすいお子さんは、汗をこまめに拭き取ったり、濃い色の服を避けてみたりすると良いかもしれませんね。

### 掻きこわしにご注意ください！！

虫刺されや湿疹を掻きこわすと、傷口から人の皮膚(肌)に付いている常在菌(黄色ブドウ球菌)が入って感染し、水膨れになります。水膨れが破れて浸出液が出ると、液(細菌)が付いた手指を介してあとという間に全身に感染する(火の粉が飛ぶように感染する)『とびひ』になってしまいます。『とびひ』は、自分自身の体だけでなく、他のお子さんにも感染しますので、傷口が乾く(かさぶたになる)まではガーゼで覆う必要があります。(市販の絆創膏は浸出液の吸収が不十分な上に、同部にかゆみを生じ、感染を拡大することがあるため、ガーゼが好ましいです。)

### とびひと診断されたら…

患部が乾燥するまで水遊びはできませんが、シャワーは通常通りできますので、ガーゼの替えを持って来て下さい。ガーゼで覆えない部分にとびひができてしまうと、部位や状態によってはお休みしていただく場合もあります。受診してお薬をもらって治りが早いことが多いので、掻いた部分から浸出液が始めたら、早めに受診されることをお勧めします。

### シールタイプのかゆみ止めについて

シールタイプのかゆみ止めは、汗や水遊びによりはがれることがあります。特に小さい月齢のクラスでは、その薬品のついたシールを口に入れたり、誤飲したりする心配もありますので、できる限り使用を控えて頂くようお願いいたします。迷うことがありましたら、保育士にお尋ねください。

